

**奥日光 戦場ヶ原でハイキングを楽しみながら、
自然環境を学ぶ「環境配慮エコツアー」を実施します！**
～エコツアーを通じ、沿線地域の環境保全活動を推進していきます～

東武鉄道株式会社
東武トップツアーズ株式会社

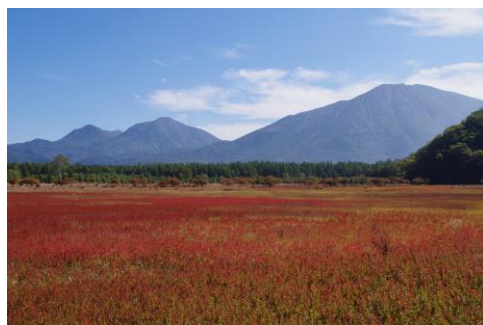
東武鉄道（本社：東京都墨田区）と東武トップツアーズ（本社：東京都墨田区）では、沿線地域の自然観光資源の保護・育成と活用を目的とした環境保全・地域振興活動の一環として、2017年9月24日（日）、30日（土）に奥日光 戦場ヶ原でハイキングを楽しみながら、自然環境を学ぶ「環境配慮エコツアー」を実施します。

このツアーは、浅草駅等から新型特急「リバティ」に乗り、東武日光駅到着後バスにて奥日光（赤沼）へ、その後低公害バス（運営：栃木県立日光自然博物館）に乗り換えて、戦場ヶ原（小田代原）に向かい、大自然の中で赤い絨毯のように一面が赤く色づく草紅葉等を見学するハイキングを楽しみながら、専門ガイドによる環境教育を通して奥日光の自然（小田代原の神秘・歴史や生態系の現状）等を学んでいただくものです。昨年も足尾地域での植樹体験を行うエコツアーを開催しましたが、本ツアーでは、東武グループの環境に優しい乗り物への乗車体験と奥日光エリアでの環境教育により環境保全の大切さを考えていただくきっかけを提供するとともに、ラムサール条約に登録されている奥日光の湿地や規制が厳しい日光国立公園の特別保護地区の手つかずの自然が作り出す景色など「日光の持つワールドクラスのポテンシャル」を感じていただく観光プログラムにより地域の活性化を図ります。

また、ツアーの移動手段である往復の電車には、バイオマス発電によるグリーン電力を利用し、東武日光駅～奥日光（赤沼）間往復のバスにおいては、走行に伴って発生する二酸化炭素（CO₂）の排出量を、「東武鉄道社有林篠井山林間伐促進プロジェクト」で創出されたオフセット・クレジットを活用してカーボン・オフセットし、CO₂排出量を実質ゼロとします。なお、同プロジェクトは、2013年5月に東武鉄道が栃木県宇都宮市に保有しているスギ・ヒノキといった針葉樹林の間伐を実施し、間伐によって森林が吸収するCO₂吸収量をクレジットとして認証・取得しています。

東武グループでは、引き続き沿線地域と連携し、「自然環境への配慮」「観光振興・地域振興への寄与」等のエコツーリズムの理念に基づいた「環境配慮エコツアー」を開催しながら、自然環境保全や地域活性化に努めてまいります。

概要は、別紙のとおりです。



△戦場ヶ原（小田代原）の草紅葉（イメージ）

※気候等の状況によりお楽しみいただけない場合があります



△奥日光 赤沼～小田代原間で乗車する低公害バス

奥日光 戦場ヶ原でハイキングを楽しみながら、自然環境を学ぶ「環境配慮エコツアー」の概要について

- 1 名称 「環境配慮エコツアー」
～戦場ヶ原（小田代原）草紅葉ハイキング～
- 2 発売期間 2017年8月7日（月）～9月27日（水）
※9月24日（日）出発分については、9月20日（水）までとなります。
- 3 実施日 2017年9月24日（日）、9月30日（土）
- 4 発売箇所 東武トップツアーズ各支店
- 5 プラン内容
特急「リバティ」けごん3号 浅草発（7:00）、北千住発（7:12）、春日部発（7:34）乗車
→東武日光着（8:56）、貸切バスにて奥日光（赤沼）へ→低公害バスで戦場ヶ原（小田代原）へ
→小田代原で専門ガイドによるハイキング（約3km、約90分）をしながら、
自然環境（小田代原の神秘・歴史や生態系の現状）等についての説明
→昼食（三本松茶屋）→中禅寺金谷ホテル 入浴・休憩→中禅寺湖機船 新型遊覧船クルーズ（約30分）
→貸切バスにて移動→特急スペーシアけごん44号 東武日光発（17:23）乗車 ※車中軽食付
→春日部着（18:41）、北千住着（19:02）、浅草着（19:15）
- 6 旅行代金（発売額、税込）
各出発日 大人10,580円 小人（6歳～12歳）9,580円
- 7 募集人員 各40名（最少催行人員各28名）

以上

<参考>

オフセット・クレジットについて

東武鉄道が栃木県宇都宮市に保有している山林のうち、スギ・ヒノキといった針葉樹林の間伐を実施し、間伐によって森林が吸収するCO₂吸収量をクレジットとして認証・取得しています。

- ①プロジェクト名 東武鉄道社有林篠井山林間伐促進プロジェクト（栃木県宇都宮市）
- ②対象面積 53.3ha
- ③クレジット取得量 797t-CO₂
- ④クレジット取得日 2013年5月29日（木）
- ⑤クレジットの活用 東京スカイツリー®のライティング等で発生するCO₂排出量をカーボンオフセットしています。また、本リリースのエコツアーでも活用します。

※オフセット・クレジット（J-VER）制度について

2008年度に環境省が創設した、省エネルギー機器の導入や森林整備などの取り組みによるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量をカーボン・オフセット用のクレジットとして国が認証する制度です。なお、J-VER制度は、経済産業省が所管する国内クレジット制度と統合し、2013年度より「J-クレジット制度」へ移行され、J-VER制度によって認証されたプロジェクトは、「J-クレジット制度」に継承されています。

以上